

ロタウイルスワクチン (ロタリックス®) について Rotavirus Vaccine (Rotarix®)

子供の安全を守る。
すべてのワクチンを期限内に接種する。

すべてのワクチンを期限内に接種することで、
子供は生涯にわたって多くの病気から身を守ることが
できます。

過去 50 年間、カナダでは予防接種によって、他の
どの健康対策よりも多くの命が救われてきました。

ロタウイルスワクチンとは？

ロタウイルスワクチンは、ロタウイルスによる下痢や嘔吐から乳児を守るためのものです。他のウイルスによる下痢や嘔吐を防ぐことはできません。このワクチンには、病気を引き起こさない弱体化させたロタウイルスが含まれています。このワクチンは、カナダ保健省に承認されています。

ロタウイルスワクチンは、子供の定期予防接種の一部として無料で提供されています。医療機関に電話で予約してください。

ロタウイルスワクチンを接種すべき人は？

ロタウイルスワクチンは、生後 2 ヶ月以降の乳児が接種することができます。このワクチンは、2 回に分けて接種します。1 回目は生後 2 か月、2 回目は生後 4 か月に接種します。ロタウイルスワクチンは、他の小児予防接種と同時期に接種されます。

ロタウイルスワクチン	予防接種時の子供の月齢
1 回目接種	生後 2 ヶ月
2 回目接種	生後 4 ヶ月

乳児は、ロタウイルスワクチンを決められた時期に接種することが大切です。1 回目接種は生後 20 週までに、2 回目接種は生後 8 ヶ月までに接種する必要があります。最も効果的に予防するには、2 回の接種が必要です。

すべての予防接種を記録しておくことは、大切です。

ロタウイルスワクチンは、経口投与します。液体ワクチンを数滴、乳児の口に入れ、飲み込ませます。

予防接種後少なくとも 10 日間は、乳児の便にワクチンのウイルスが含まれることがあります。保護者や介護者は、おむつを交換した後、十分に手を洗ってください。

ロタウイルスワクチンによる効果はどのようなものか？

このワクチン接種により、ロタウイルス感染症の 4 例中 3 例以上を入院を含む重症化から防ぐことができます。子供が予防接種を受けることは、他の人を守ることにもつながります。

ワクチン接種後に考えられる副反応はどのようなものか？

ワクチンはとても安全です。ロタウイルス感染症にかかるより、ワクチンを接種する方がずっと安全です。

ほとんどの乳児は、ロタウイルスワクチンを接種した後、副反応を示しません。中には、予防接種後に下痢、不機嫌さ、腹痛、ガスがたまる、かゆみを伴う発疹が出る場合があります。

カナダ以外の国で、ロタウイルスワクチンの 1 回目を接種した後の 1 週間に、ごくまれに腸重積症のリスク（腸が詰まること）が確認された国があります。腸閉塞のリスクは、ワクチンを接種した 10 万人の乳児に対して、1~2 人程度です。それに比べ、BC 州では毎年 4,000 人に 1 人の割合で、ワクチンを接種していない 1 歳未満の子供が腸重積症にかかっています。

腸重積の症状としては、腹部の腫れ、頻繁な嘔吐、血便などが考えられます。乳児は弱々しく、イライラしているように見え、激しい泣き声を何度もあげることがあります。このような症状が見られたら、最寄りの救急外来に連れて行ってください。

100 万人に 1 人以下と極めて稀ですが、アナフィラキシーと呼ばれる生命を脅かすアレルギー反応を起こす可能性があるため、ワクチン接種後 15 分間はクリニック内にとどまることが重要です。アナフィラキシーには、じんましん、呼吸困難、のどや舌、唇の腫れなどが含まれることがあります。この反応が起こった場合、医療機関での治療準備があります。緊急処置には、エピネフリン（アドレナリン）の投与と、救急車による最寄りの救急診療所への搬送が含まれます。クリニックを出た後に症状が出た場合は、

9-1-1 または地域の緊急電話番号に電話してください。

発熱や痛みには、アセトアミノフェン（タイレノール®など）やイブプロフェン*（アドビル®など）を服用することができます。ASA（例：アスピリン®）は、ライ症候群のリスクがあるため、**18 歳未満の人は服用しないでください。**

*イブプロフェンは、生後 6 ヶ月未満の子供の場合、医療従事者への相談なしに投与することはできません。

ライ症候群の詳細については、こちらをご覧ください [ヘルスリンク BC ファイル #84 ライ症候群](#)。

ロタウイルスワクチンを接種すべきでない人は？

乳児が以下にあてはまる場合は、医療機関に相談してください。

- 過去にロタウイルスワクチンまたはワクチンの成分に対して生命を脅かすような反応を示したことがある
- 病気や医療行為によって免疫力が低下している
- 免疫力が低下している家族歴がある
- 腸捻転を起こしたことがある、または腸捻転を起こす可能性のある腸の病気がある

中等度または重度の下痢や嘔吐、重い病気にかかっている乳児は、病気が治るまで予防接種を受けられません。

風邪などの軽い病気を理由に、予防接種を遅らせる必要はありませんが、心配な場合は、医療機関に相談してください。

ロタウイルスとは？

ロタウイルスとは、胃腸炎を引き起こすウイルスで、胃腸風邪と呼ばれることもあります。ロタウイルスは、5 歳未満の小児における下痢および下痢による入院の最も一般的な原因です。予防接種を受けていないほぼ全ての子供は、5 歳になるまでに少なくとも 1 回はロタウイルス感染症にかかると言われています。

ロタウイルス感染症の初期の症状は、多くの場合、発熱と嘔吐の後、下痢と腹痛が起こります。これらの症状は、ウイルスに感染してから 1~3 日後に現れます。下痢は 4 日から 8 日間続くことがあります。下痢や嘔吐がひどく、頻繁に起こる場合、乳幼児は脱水症状を起こすことがあります。治療を行わない場合、子供が死亡することもあります。

ロタウイルスは、感染した子供の便に触れることで簡単に広がります。これは、おむつを扱うときに起こる可能性があります。ロタウイルスの蔓延を防ぐには、石鹸と水で頻繁に手を洗うことが一番です。下痢や嘔吐の症状がある子供は、下痢や嘔吐が止まってから 48 時間経つまでは、デイケアに行ったり、他の子供と接触したりしないようにしてください。手洗いのコツは、以下をご覧ください [ヘルスリンク BC ファイル #85 手洗い: ウイルスの感染を防ぐ手助けをする](#)。



BC Centre for Disease Control
Provincial Health Services Authority